

小浜市「鯖を愛するまち」宣言

小浜市は、京都へと続く「鯖街道」の起点です。

かつて、小浜の豊かな海には、大量の鯖が押し寄せました。

この鯖は、塩でしめて行商人に担がれて徒歩で運ばれ、京都に着くころには絶妙の塩加減になったと言われていました。

京都に運ばれた小浜の魚介類は「若狭もの」と言われ、特に鯖は、庶民を中心に重宝され、京都の鯖寿司の基礎となりました。

また、小浜には、鯖街道を往来した人々により運ばれた文化が今なお息づき、これらは、「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」として、国から日本遺産に認定されています。

この小浜の鯖文化を誇りとし、未来に継承していくため、小浜市は、鯖を愛し、鯖を守り、鯖の魅力を伝えることに取り組む「鯖を愛するまち」であることを、ここに宣言します。

1. 鯖を「愛する」

将来にわたって、小浜に根付く鯖を美味しく食べる文化を愛し、継承していきます。

2. 鯖を「守る」

減少する鯖の資源を守るために、小浜で獲れた鯖の価値を高めるとともに、適切な資源管理の推奨に努めます。

3. 鯖を「伝える」

鯖街道の歴史と鯖の魅力を、食のまちづくりを標榜する小浜市として全国に向けて発信していきます。

平成29年3月3日

福井県小浜市大手町6-3

小浜市長 松崎晃治